議員活動自己検証シート（公約の取組）　（対象期間：令和６年度）

会派名	三輝会
期数　（議員歴）	１期　（１年）

議員名	検証項目（10項目）	所属委員会　等
細美克浩	【検証値の捉え方】 １年間の議員活動・取組内容については・・・・・ 「ほぼ満足している」=”〇” 1.0 「さらに努力する余地があると思う」=”△” 0.5 「思ったような取組ができていない」=”▼” 0	産業建設常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会 議会活性化等検討特別委員会 備北地区消防組合議会

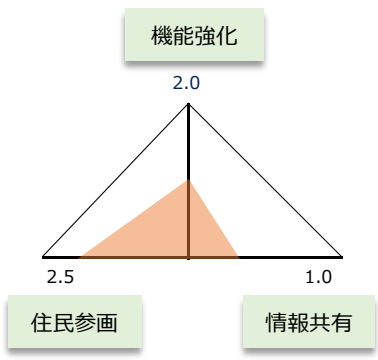
公約を検証する背景（根拠）	**議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は，市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」**
検証の対象／分野	**議会基本条例第４条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について**（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
検証方法	**「公約」について，成果如何に捉われず，その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）**

議会基本条例第４条（議員活動の原則）

❶ 選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し，市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し，市民全体の福祉の向上をめざすこと。【情報共有】【住民参画】
❷ 議会が言論の場であること，及び合議制機関であることを認識し，議員相互間の自由な討議を重んじること。【機能強化】
❸ 日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。【機能強化】
❹ 地方自治の本旨にのっとり，政策，条例，意見書等の議案を提出する努力をすること。【機能強化】
❺ 市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため，一般質問を一問一答方式により行うこと。【機能強化】【情報共有】

（公約1）市民と市政の輪（和）

市民の生の声を市政へ届けます

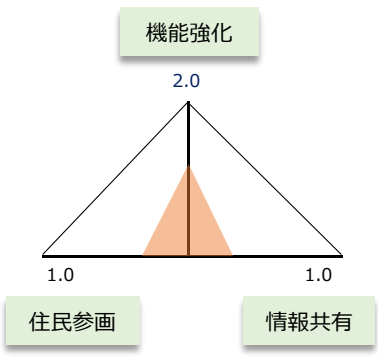


		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等 注）検証に繋がる活動等，成果等（事業の見直し等）を記入すること。
住民参画 3point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	〇	地域の自治会やイベントに参加し、困っていることや悩みについて聞き、必要に応じて市政や関係機関へつなぐことができた。まだまだ地域の声を聞けていない状況があるので、今後、声を聞く機会を増やすことが必要だと考えている。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	〇	
情報共有 3point	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	△	地域で活動する若者と一緒に元気の出る三次市にするための意見交流をした。しかし、個別の話にとどまっている。今後は、先進地での学習をし、地域住民と一緒に考え、地域全体に発信することが必要と考えている。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	▼	
機能強化 4point	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	△	地域が衰退し、活性化したいという要望の声を多く聞き、一般質問では「自治連合会への補助金の査定方法について」を確認した。また、記念事業のような補助金を企画することで、元気のある三次市につながる提案をした。現状は予算の都合上難しかったが、他市町の取組を学習し、今後につなげていきたい。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	△	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	5.5

（公約2）暮らしの輪（和）

くらしと産業の基盤である安全な道づくりの推進

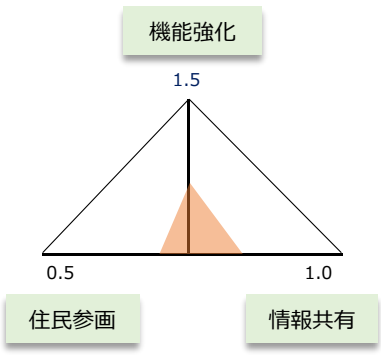


		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	△	個別に相談を受けることもあるが、できるだけ地域の活動に参加することで道路や水道だけでなく、生活で困っている事案について聴くことができた。必要に応じて行政や組織へ繋がる支援をした。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	▼	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	△	道路改良についてはなかったが、維持に関わる相談は、現地確認の上、市政へ早めにつなげることができた。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	▼	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	△	個別の相談への対応をすることはできた。今後は会派での情報共有しながら、暮らしの和につなげていきたい。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	△	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	4.0

（公約3）思いやりの輪（和）

動物とのふれあいを通じ思いやりの心が広がる町づくり（動物とのふれあい広場）



		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	△	イベント「動物ふれあい広場」での、参加者の声を聞くことができた。また、動物保護団体の方からも現状を知ることができた。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	▼	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	▼	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	△	実際に運営している組織の話を聞き、現状を学習することができた。今後は動物セラピストの話や先進事例について学習し、地域での必要性を確認していきたい。現在はSNSや広報誌等の発信には至っていないが、地域へ広げる必要を感じている。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	▼	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	△	一般質問で「動物とのふれあい広場」の設置ができないかと質問し、提案したが、受け入れは難しかった。しかし、三次市の「（仮称）アグリパーク整備基本構想」の中に「施設整備内容」として、動物ふれあい広場　子どもが触れ合うことのできるような小動物を集めた動物広場の整備と記載があることから、今後も検討していく。 わんにゃんサポーター研修会に参加し、地域での動物保護活動の学習をすることができた。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	△	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	3.0

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

市民と市政の輪（和）
市民の生の声を市政へ届けます
5.5

暮らしの輪（和）
くらしと産業の基盤である安全な道づくりの推進
4.0

思いやりの輪（和）
動物とのふれあいを通じ思いやりの心が広がる町づくり（動物とのふれあい広場）
3.0

活動の一コマ
わんにゃんサポーター研修会参加

課題の抽出・次年度の目標設定	
	引き続き相談に対して、早期の対応を試みる。
	市民からの要望等に積極的に対応していく。
	行政単独での建設は非常に厳しいため、民間との協力を期待しながら対応したい。

無断複製・転用はご遠慮ください。

三次市議会　議会運営委員会